

学校の教育目標：やさしく かしく たくま 経営方針：心の宝物に満ちた学校に



# かさ TEAM

令和 4 年度  
笠原小学校  
学校便り  
7 月 20 日号

児童会：誰もが楽しい笠原小学校を創りあげていくために、思いやり・ルールを大切にしよう

## 笑顔輝く 命輝く夏休みに

校長 鈴木 稔朗

明日より夏季休業日に入ります。自立力と共生力の育成を柱とし、心の宝物に満ちた学校づくりに向かって全員で歩んだ3か月あまりは、充実した、中味の濃い時間でした。

\*\*\*\*\*

7月初めのある日の午後、来客がありました。校長室に入られるなり開口一番、次のように言われました。「車を降りたとたん、3階から駐車場にいる私に向かって、男子児童が『こんにちは』と、元気な挨拶をしてくれました。こんなことは初めてで本当に心が温まりました」

それが例え目の前やすれ違いざまであっても、見ず知らずの人に自分から挨拶をすることは決して簡単なことではありません。まして、3階の窓からたまたま見下ろした駐車場。車から降りたその人に向けた善意の関心(優しさのアンテナ)だけでも素晴らしい。更に、その人が本校への来客であることを察し、10メートルも下にいて、自分がそこにいると気付いてもない人に、あえて自分から「こんにちは」と温かい気持ちを届けるという行為を選び取った彼の勇気と優しさ。人とよくつながり合おうと願う心と、願いを実現する行動力等、ここまで彼が自分の内で磨き続けた豊かな心を頼もしく、誇らしく感じました。

この素晴らしい行動は、彼の美点であると同時に、ここまでの、チーム笠原全員の「心の宝物」です。毎朝門に立って挨拶運動を続けた代表委員、それに応える他の児童。素敵な挨拶をした人として、お昼の放送で名を呼ばれた仲間贈る温かい拍手。そういった日常の中で、全校の児童一人一人の心に、「挨拶」という行為のもつ温かさ、人と人がつながり

合うことのよさが少しずつ、しかし確かな実感として積み上がっています。それが校風となり、彼の行動の原動力になったのではないか。彼の勇気を、本校の全児童の優しさや強さを、心から誇りに思います。

\*\*\*\*\*

左の短冊は、笠原幼稚園の七夕飾りです。お父様のお名前を一字もらった娘さんの幸せを、心から願われるご両親。笠原小の361名の児童も一人残らず、同じかけがえのない存在です。どうか大切な子どもたちの笑顔と命が穏やかに輝く夏休みでありますように。

保護者、地域の皆様のご支援に、職員一同厚くお礼申し上げますとともに、夏休み中もそれ以後も、児童を見守る最強のチームであっていただきますよう心よりお願い申し上げます。

明日から児童の日常をご家庭にお返しします。しかし、私たちの心は、常に児童と、保護者の皆様と共にあります。新型コロナウイルス第7波、事件、事故から、共に児童の安心を守って参りたいと存じます。心配や不安を感じられた際はいつなりともご連絡ください。

